

愛と夢 in 野間

野間中学校 校長だより 21号 H31.3.22



各地でさくらの開花宣言も聞かれ、北校舎前のパンジーが咲き誇り、春の訪れを感ずります。本日、無事に修了式を迎えることができました。「愛と夢のある学校」を創るために、たくさんの生徒・教職員が力を尽くしました。保護者・地域の皆様にも多大なるご尽力を賜りました。ありがとうございました。また、「愛と夢 in 野間」を愛読いただいた皆様、ありがとうございました。

修了式の校長式辞

3月5日、3年生93名がこの野間中学校を巣立っていきました。3月6日に公立高校定時制の入試が、7日8日と11日12日に公立高校全日制の入試があり19日(火)に合格発表がありました。第1志望校に合格した子、第2志望校に合格した子、公立が受からなかったの私立に行く子、さまざまです。でも、93名全員が進学です。ひょっとして、進学をあきらめている人はいませんか?今からでも間に合います。努力を始めようとする人を私たちは応援します。



式辞を話す日比校長

さて、野間中学校は「愛と夢のある学校」になったのでしょうか?

「愛のある学校」は、人と人が温かい人間関係で結ばれている学校だと言いました。温かい人間関係をつくろうと努力しましたか?結果的にできなかったとしても、努力したかどうか大切です。「誰に対しても気兼ねなく言いたいことを言い合える。「5」点0人。多少気を遣う人もいるがほとんどの人と気兼ねなく話することができる。「4」点80人ぐらい。一部の仲のいい人には気兼ねなく話せる。「3」点60人ぐらい。いつも周りに気を遣っているけど、一人か二人の仲のいいには自分の本音が言える。「2」点5人ぐらい。なかなか自分の思いを伝えられなくて周りに気を遣いながら生活している。「1点」0人。

「夢のある学校」は、生徒一人一人が夢をもち、それを私たち教職員が応援する学校と言いました。夢がありますか?将来の夢がある「5」40人ぐらい。こんなことがやってみたい。あんなことがやってみたい。やりたいことがいろいろある「4」60人ぐらい。とりあえず、高校へ行くとか、テストで80点をとるとか、部活動でレギュラーになるとかとりあえず目標がある「3」40人ぐらい。ゲームで〇〇くんに勝てるようになる。見たい番組や映画がある。とか読みたい本やマンガがある。聴きたい音楽がある。「2」数人。まったく何もやりたくない。「1」0人。

1・2年生147名のみなさん、私にとっては、一人一人みんな大切な野間中学校の生徒です。くれぐれも命を大切に、4月3日、新しい担任の先生を発表する日。それぞれ2年生、3年生として、

1年を振り返って

ぼくは、この一年を通して、みんなで協力することの楽しさを学びました。一人一人が野中生の一員として、ここまで頑張ってきました。自然の家合宿では、新しい違う小学校の友達との関係が深まっておらず、リーダーに頼っていて、うまくいかないときが何度かありました。

でも、野中祭では、一人一人が声を出し、自分たちのクラスを優勝・金賞に導こうと頑張ることができました。

訪問調査では、みんなが質問わし、自分たちでやろうとしていました。いろいろな行事を経験していくたびに、みんなで成長してきました。

4月からは、一つ学年が上がり、二年生になります。後輩ができます。それは、自分たちの行動を見られるということです。だから、先輩として行動するようにし、良いところは伸ばして、悪いところはなくすようにしたいです。二年生になると、学校生活に慣れて、たるんでくると思います。しかし、クラスで呼びかけて、勉強・部活・行事ができる環境をつくり、2年生を飛躍の年にしたいです。



1年A組 山本龍之介君

1年間を振り返って

2年生として、迎えた一年は、あっと今に終わり、明日から春休みに入ろうとしています。振り返ると、この1年間いろいろなことがありました。2年生最大のイベント郡上八幡研修では、みんなとの絆をさらに深めることができました。一番心に残っているのは、キャンプファイヤーです。天気がとても心配でしたが、実行委員を中心に77人の力を合わせ、見事最後まで実施することができました。その感動を今でも忘れることができません。この研修で、みんなの力は天気なんかには負けないとても強いものだと感じることができました。



2年B組 北村 はるさん

野中祭の文化の部では、なかなか気持ちがそろわずとても悩んだ時期もありました。しかし、みんなが「このままじゃダメだ」と思うようになり、本番までパート練習をたくさんしたり、先生にアドバイスをもらったりして一生懸命練習に取り組みました。当日は最高の笑顔で歌うことができました。体育の部では、みんなで力を合わせて学年優勝を目指しました。互いに励まし合い、厳しい練習を乗り越え、A組と切磋琢磨することで、仲間との絆も深まっていきました。本番は、あと少しというところで負けて、悔し涙を流しました。この悔しさを来年は、嬉しさに変えて見せます。

この一年過ごした日々の一つ一つが、私にとってかけがえのない宝物です。この宝物が色あせないように、心のアルバムに大切にしまっておこうと思います。

3年生の先輩方が卒業し、いよいよ私たちが学校を引っぱっていく立場となりました。一つ一つ責任をもって行動し、後輩から信頼される先輩になりたいと思います。

3月18日(月) 朝会の話～東京オリンピックまであと500日～



みなさん、この子を知っていますか？3分の2ぐらいの生徒が挙手。高間君が代表で「張本君」と答えてくれました。次に伊藤美誠さんの写真を出し同じ質問をしました。半分ぐらいの生徒が知っていると答えてくれました。先日、東京オリンピックまであと500日ということで、二人がインタビューを受けていました。二人とも「あと500日しかない。一日一日を大切にしたい。」と答えていました。そこで、郡大会まで何日あるか数えてみました。124日ありました。では、そのうち練習できる日は何日あるでしょう？①95日ぐらい(2人) ②80日ぐらい(110人) ③65日ぐらい(35人) 3択で手を挙げてもらいました。実際に数えてみました。3月は10日。4月は17日。5月は15日。6月は



17日



15日



6月から朝練なし

13日



Nコン 8月2日(金)

ハンド
7日
その他
12日
合唱
21日

13日。7月はハンド部は7日。その他の運動部は12日。合唱部は21日 ということ、正解は③の65日ぐらいでした。一日一日を大切に練習していきたいものです。

野間中学校の花壇がきれいに咲いています。用務員の磯部さんをはじめ、森下先生、園芸部のみなさん、緑化委員会のみなさんのおかげです。ありがとうございます。

